

## 第6学年社会科 学習指導案

平成27年11月6日(金)

6年1組(男子14名 女子9名 計23名)

授業者 山岡 真美

1 単元名 「平和で豊かな暮らしを目ざして」(教育出版6年上)

### 2 単元について

#### (1) 単元観

本単元は、学習指導要領の内容(1)のケ「日華事変、我が国に関わる第2次世界大戦、日本国憲法の制定、オリンピックの開催などについて調べ、戦後我が国は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことが分かること。」を受けて設定している。

その中で、日本国憲法の制定や東京オリンピックの開催、高度経済成長などの戦後の歩みについて具体的に調べることを通して、我が国が民主的な国家として出発したことや、国民の不断の努力によって生活も向上し、国際社会からの信頼を回復するとともに、国際社会において重要な役割を果たしてきたことが理解できるようにする。さらに、平和で民主的な国家の一員として、これからの日本の課題やよりよい日本の発展について考えさせることは、歴史のみならず社会科を学ぶ意味にもつながると考えられる。

また、本単元は、自分の生活と歴史のつながりを見つけやすく、最近話題となっている2020年開催の東京オリンピック等と関連付けて考えやすい。そこで、学校図書館や市立図書館などを活用したり、身近な高齢者に話を聞いたりするなどの具体的な活動を取り入れ、児童自らが資料を活用したり、調査したりして、学習を主体的に展開していくことが重要である。

#### (2) 児童観

児童はこれまでに、日本の歴史について歴史的事象と人物を取り上げて学習してきている。授業では、家庭学習等で調べてきたことを生かし、課題解決をしていくよう仕組んできた。特に、全国を統一した3人の武将や幕末の志士、文明開化における暮らしの変化などについては、図書館も活用し、調べ学習を行った。その際、国語科で学習した、必要な本を索引から探し情報を収集する力を使って調べさせた。歴史に対しては、興味のある児童が多く、武士が出てきた時は、調べ学習にも意欲的に取り組んだ。個人差はあるが、自主学習として発展的に調べる児童もいる。

しかし、1学期の単元テストでは、社会的な思考・判断・表現がやや低い傾向にある。1つの資料を読み取る力はあるが、複数の資料を活用する力は十分とは言えず、それらをより広い視野から比較し、関連付けて考え、適切に表現する力に課題が見られた。そこで、2学期からは、調べた内容を自分の言葉で整理し表現することや、キーワードでまとめ、振り返る活動を取り入れて学習してきている。また、国語専科の協力を得て週2回、自分で新聞の記事を選び、その記事に対する意見文を書く活動(「見つめる目」)を続けている。内容においては、個人差はあるが、必要な情報を取り出し、自分なりの思いを表現することはできている。

本単元は、歴史学習のまとめの単元であり、現代社会ともつながりが深い。「見つめる目」で新聞に目を通して児童にとって、身近な題材と言え、興味を持って取り組むと思われる。

#### (3) 指導観

指導にあたっては、導入で画像を提示し、時代を視覚的にとらえさせて学習の意欲付けを

図り、児童自身が学ぶ目的や見通しを持って取り組めるようにさせたい。そして、ペアやグループ学習、全体交流と学習形態を工夫し、自分の思いを伝え合い主体的に交流できるよう仕組んでいく。また、キーワードでまとめたり、調べた情報を整理して自分の言葉で書かせたりする活動も取り入れていく。

単元の導入では、問題解決するために予想し、学習計画を立て活動を行う。その際、戦後間もないころとオリンピック開催のころや近代化した都市の様子を比べ、わずか19年の間で人々の暮らしや社会が大きく変わったことに気付かせ、日本の復興について課題をもって学習が進められるようにする。

調べ学習では、児童は、身近な人から聞き取りをしたり、図書担当の協力を得て作った調べ学習コーナーを利用したりしながら学習を進めていく。

そして、調べたことをもとにグループや全体で話し合う活動を取り入れて考えさせることで、問題解決していきたいと考える。日本国憲法については、戦後民主的で平和主義の憲法が制定されたことを調べ、我が国が民主的な国家として出発したことを理解できるようにする。オリンピックの開催と高度経済成長については、日本が独立し国際社会に復帰した経緯や高度経済成長により産業が発展したことを取り上げ、国民の努力によって、国民生活が向上し、日本が国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことに気付かせる。その際、高度経済成長期には、経済発展だけでなく、公害病などの社会問題が起きていたということもつかませたい。

単元の終末では、近隣の国々との間に残された課題を知り、日本の目ざすところと自分たちがこれからどのような社会をつくれればよいかを考えさせたい。そして、単元の学習を振り返り、学習問題に沿って調べたことを自分なりに作品にまとめさせたい。

### 3 単元の目標

日本国憲法の制定や東京オリンピックの開催、高度経済成長などについて調べることを通して、戦後、日本が平和で民主的な国づくりに取り組み、国際社会からの信頼を回復するとともに、国民生活も向上していったことを考えるようにする。

### 4 単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の 技能	社会的事象について の知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>戦後、人々がどのような願いをもち、どのような社会を目ざしていったのかについて関心を持ち、意欲的に調べている。</li> <li>日本と近隣諸国との関係について、これからどのようにしていくのがよいか考え、表現しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦後の日本の社会がどのように変わっていくのかについて学習問題や予想、学習計画を考え表現している。</li> <li>産業や経済、社会や人々の暮らしを比較したり関連づけたり総合したりして、戦後の日本の変化や役割を考え適切に表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦後の社会や暮らしの変化について、身近な人から聞き取りをしたり、資料を活用したりして必要な情報を集め、読み取っている。</li> <li>調べたことを作品にまとめている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦後我が国は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことが分かっている。</li> </ul>

## 5 指導計画

時	学習活動	主な評価規準
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦後間もないころとオリンピック開催のころの暮らしの様子を調べ、人々の暮らしや社会が大きく変わったことに気づき、どのような社会が目ざされたのかについて学習問題をつくる。(1時間)</li> </ul> <p>[日本は、敗戦の焼け野原からどのようにして復興し、今日の社会を築いていったのだろう。]</p>	<p>【関】戦後の暮らしの様子や人々がどのような願いを持ちどのような社会を目ざしていったのかについて関心を持ち、進んで調べている。</p> <p>【思】戦後の日本の社会がどのように変わっていくのかについて学習問題や予想、学習計画を考え、表現している。</p> <p>(ワークシート)</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習問題の解決のために身近な人に聞き取ったり、図書館の資料を活用したりして調べる。(1時間)</li> </ul>	<p>【技】日本国憲法の制定、東京オリンピック開催、高度経済成長などについて調べ、身近な人への聞き取り、本や資料、インターネットなどから必要な情報を集め、読み取っている。</p> <p>(付箋)</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本国憲法制定やさまざまな改革について調べ、民主的な社会がつくられていったことについて考える。(1時間)</li> </ul>	<p>【知】日本国憲法やさまざまな改革の内容をつかみ、戦後、日本が民主的な国家を目ざしてきたことを理解している。</p> <p>(ワークシート・付箋)</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本が独立を回復した経緯や東京オリンピックが開催された経緯について調べ、これらのことが国内外におよぼした影響について考える。(1時間)</li> </ul>	<p>【知】日本が独立を回復し、その後も東京オリンピックを開催するまでに国際社会での地位を向上させていった経緯を理解している。</p> <p>(ワークシート・付箋)</p>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>高度経済成長について調べ、産業や経済の発展と人々の暮らしの向上をつなげて考え、経済の成長がもたらした変化について考える。(1時間)【本時】</li> </ul>	<p>【思】産業や経済、社会や人々の暮らしを比較したり関連づけたり総合したりして、戦後の日本の変化や役割を考え適切に表現している。</p> <p>(ワークシート・学習感想)</p>
6 ・ 7	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本と周りの国々との間に残された課題に目を向け、これからの社会のあり方について考える。</li> <li>単元の学習を振り返り、学習問題について自分の考えを作品にまとめる。(2時間)</li> </ul>	<p>【関】日本と近隣諸国との関係について、これからどのようにしていくのがよいのか考え、表現しようとしている。</p> <p>(発言・ノート、付箋)</p> <p>【技】平和で豊かなくらしを目ざして我が国がどのようにして復興したのかについて調べたことを作品にまとめている。</p> <p>(ワークシート・作品)</p>

## 6 本時の学習（5／7）

- (1) 目標 高度経済成長の様子を調べ、それに関連して社会の様子や人々の暮らしがどのように変化していったのかを考え、日本が国際社会において重要な役割を果たしてきたことを考えて表現することができる。
- (2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <p>(1) 産業や経済が急速に発展していったことをつかむ。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">高度経済成長により、社会や人々の暮らしはどう変わり、日本はどんな国になっただろう。</p> <p>(2) 予想をたてる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通の便がよくなった。</li> <li>・暮らしが便利になり、楽になった</li> </ul>	<p>○高速道路や電気製品の画像を提示し、日本の産業が急速に発展していったことをつかませる。</p>
<p>2 課題を解決する。</p> <p>(1) 高度経済成長の様子を調べ、社会や人々の暮らしの変化について考え話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電気製品が普及し暮らしが便利になった。楽になった。楽しみが増えた。</li> <li>・新幹線や自動車、道路ができて移動しやすくなった。</li> <li>・都会で働く人が多くなり、懸命に働いたので大量生産でき、暮らしが豊かになった。</li> <li>・大量生産で貿易が増えた。</li> <li>・工業が盛んになった。</li> </ul> <p>(2) 産業が発展していく中で、公害の問題が起こったことをつかむ。</p>	<p>○調べたことをもとに社会や暮らしがどう変化したし、どのようになったかを、班で話し合わせ全体で考えさせる。</p> <p>※写真やこれまでに選んだ資料、付箋に書いていることをもとに話すよう助言する。</p> <p>○P 1 4 1 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">カ</span> の写真を提示し、工業の発展にともない公害や環境破壊といった問題が起こったことをつかませる。</p>
<p>3 本時のまとめをする。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">産業が発展して日本は世界有数の工業国となり、国民の暮らしも豊かになり向上した。その一方で公害問題も起こった。</p>	<p>○キーワードを示して、自分なりの言葉でまとめさせる。</p>
<p>4 学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高度経済成長により、工業が発展したから国民の暮らしも豊かになり、戦後の日本から復興したことが分かった。でも、公害問題も起こったので、これからの社会の一人として環境についても考えていきたい。</li> </ul> <p>5 次時の学習について知る。</p>	<p>○本時の学習を振り返り、学習感想を持たせる。</p> <p>☆産業や経済、社会や人々の暮らしを比較したり関連づけたり総合したりして、戦後の日本の変化や役割を考え適切に表現している。</p> <p style="text-align: center;">【思】(ワークシート・学習感想)</p> <p>○次時は、日本と周りの国々との間に残された課題に目を向けて考える事を知らせる。</p>
<p style="border: 2px solid black; padding: 5px;"><b>家庭学習</b></p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">次時に学習するところ (P 1 4 2～) を読み、日本と周りの国々との間に残された課題について調べてくる。</p>	

